

## **Jp** ファームウェアバージョンアップによる変更内容

Z 50「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンがC:2.20であることを前提に説明しています。この補足説明書では、C:2.30、C:2.40、およびC:2.50の各ファームウェアバージョンアップで追加された内容および変更点について説明しています。あわせてお読みください。

### バージョンアップ方法について

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。Z 50の最新のファームウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

# ファームウェア (C: 2.30) による変更点について

## カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] に [フォーカス位置の登録] / [フォーカス位置の呼び出し] の追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で割り当てられる機能に [フォーカス位置の登録] と [フォーカス位置の呼び出し] が追加されました。[レンズのFnボタン] に [フォーカス位置の登録] を割り当ててレンズのFnボタンを長押しすると、ピント位置 (フォーカス位置) を登録できます。[レンズのFn2ボタン] に [フォーカス位置の呼び出し] を割り当ててレンズのFn2ボタンを押すと、登録したピント位置を素早く呼び出すメモリーリコールの機能が使用できます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

- メモリーリコール機能は、FnボタンとFn2ボタンのある、オートフォーカス可能なZマウントレンズの装着時にのみ使用できます。Fn2ボタンのないレンズの場合、レンズのFnボタンに [フォーカス位置の登録] を割り当てていてもピント位置を登録できません。
- ピント位置の登録と呼び出しは、静止画モードと動画モードのどちらでも可能です。
- ピント位置の登録は、フォーカスモードの設定にかかわらず可能です。
- カメラからレンズを取り外したり、レンズを交換した場合は登録したピント位置がリセットされます。

## ■ メモリーリコール機能の使い方

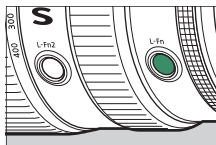
- 1 カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] にある [レンズのFnボタン] で [フォーカス位置の登録] を選ぶ



- 2 カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] にある [レンズのFn2ボタン] で [フォーカス位置の呼び出し] を選ぶ

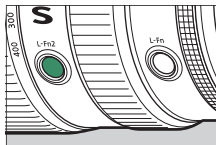


- 3 撮影画面で被写体にピントを合わせ、レンズのFnボタンを長押しする  
ピント位置が正しく登録されると、ピント位置が登録されたことを示すアイコンが撮影画面に表示されます。



- 4 レンズのFn2ボタンを押す

- 登録したピント位置にセットされます。
- レンズのFn2ボタンを押している間は、フォーカスモードがMFに変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。



### ✔ メモリーリコール機能についてのご注意

- インフォ画面の表示中は、ピント位置を登録することはできません。
- 環境温度の変化によっては、登録時と呼び出し時のピント位置が変わることがあります。
- ピント位置を登録した後で、ズーム操作で焦点距離を変えると、呼び出し時にピント位置が変わりやすくなります。この場合、セットアップメニュー [電子音] > [電子音設定] が [無効] 以外に設定されていると、ピント位置を呼び出したときに電子音が短く4回鳴ります。

### ヒント：電子音について

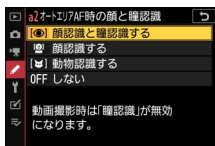
- セットアップメニュー [電子音] > [電子音設定] が [無効] 以外の場合に、静止画モードでピント位置の登録や呼び出しを行うと、電子音が短く2回鳴ります。
- サイレント撮影時や動画モード時、および [電子音] > [電子音設定] が [無効] の場合は、電子音は鳴りません。

# ファームウェア (C: 2.40) による変更点について

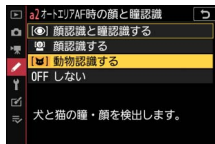
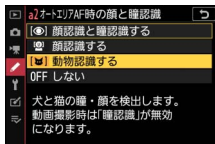
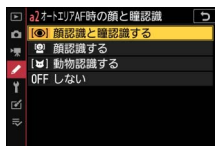
## 瞳AF機能の動画モード対応

人物または犬や猫の瞳を認識する「瞳認識機能」(瞳AF機能)について、バージョンC:2.30までのファームウェアでは動画モードの場合に無効でしたが、C:2.40にバージョンアップすることで動画モードの場合も有効になりました。

C:2.30以前



C:2.40



# ファームウェア (C: 2.50) による変更点について

## パワーズームレンズに対応

### ■ カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] / g2 [カスタムボタンの機能] に [パワーズーム (望遠側)] / [パワーズーム (広角側)] 追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] で割り当てられる機能に [パワーズーム (望遠側)] と [パワーズーム (広角側)] が追加されました。[Fn1 ボタン] に [パワーズーム (望遠側)] を割り当てると、Fn1 ボタンを押している間、望遠側に電動でズーミング (パワーズーム) することができます。[Fn2 ボタン] に [パワーズーム (広角側)] を割り当てると、Fn2 ボタンを押している間、広角側に電動でズーミングすることができます。

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] または g2 [カスタムボタンの機能] の [Fn1 ボタン] が [パワーズーム (望遠側)] のときは、[Fn2 ボタン] に [パワーズーム (広角側)] が選ばれます。
- カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] または g2 [カスタムボタンの機能] の [Fn2 ボタン] が [パワーズーム (広角側)] のときは、[Fn1 ボタン] に [パワーズーム (望遠側)] が選ばれます。
- 自分撮りモード中は、Fn1 ボタンと Fn2 ボタンを使ったパワーズームの操作は無効になります。

## ■ カスタムメニューにf7/g5 [パワーズームのボタン操作 (PZレンズ)] 追加

カスタムメニュー f7 および g5 として [パワーズームのボタン操作 (PZレンズ)] が追加されました。パワーズームに関する設定ができます。

項目	内容
[Q/Q? ボタンの使用]	<p>[する] に設定すると、Q ボタンを押している間は望遠側に、Q/? ボタンを押している間は広角側に電動でズーム (パワーズーム) することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>カメラとリモコン ML-L7 を接続している場合、[する] に設定すると、リモコンの + ボタン (望遠側) と - ボタン (広角側) でもズームすることができます。</li></ul>
[パワーズーム速度]	<p>ボタン操作でパワーズームするときのズームの速度を、- 側にすると低速に、+ 側にすると高速に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>カスタムメニュー g5 [パワーズームのボタン操作 (PZレンズ)] の場合は、[動画記録待機中] および [動画記録中] のそれぞれを設定できます。</li></ul>

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- このメニュー項目の追加によって、カスタムメニュー [ハイライト表示] の番号は g5 から g6 に変更されました。

### ✓ レンズの動作音についてのご注意

動画記録中にズームを行うと、レンズの動作音が記録されることがあります。ボタン操作でパワーズームするときレンズの動作音が気になる場合は、カスタムメニュー g5 [パワーズームのボタン操作 (PZレンズ)] の [パワーズーム速度] の [動画記録中] を一側 (低速) に設定することをおすすめします。

## ■■ セットアップメニューに [ズーム位置の記憶 (PZ レンズ)] 追加

セットアップメニューに [ズーム位置の記憶 (PZ レンズ)] が追加されました。[する] に設定すると、カメラの電源をOFFにして再度ONにした場合に、ズーム位置が電源OFFの前と同じ位置に保持されます。

- この機能は、パワースームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- 製品名が異なるレンズに交換した場合はズーム位置がリセットされます。

## ■■ 撮影画面に焦点距離の表示を追加

撮影画面に焦点距離の表示が追加されました。パワースームに対応したレンズを装着している場合のみ表示されます。

